



2014 ASPIRE Forum Student Workshop

参加学生報告書

## 2014 ASPIRE Forum Student Workshop

■ **開催期間** : 2014年7月6日(日)～12日(土)

■ **主催・場所** : 中国・清華大学

■ **参加者** :

T.K. 理工学研究科 修士課程学生  
 H.T. 理工学研究科 修士課程学生  
 V.B.J.E. 理工学研究科 修士課程学生  
 S.S. 総合理工学研究科 修士課程学生  
 T.K. 情報理工学研究科 修士課程学生

■ **プログラム** :

日時		内容	場所
7月6日(日)		(学生) 移動	
7月7日(月)		(学生) オフキャンパス・アクティビティ Visit Dezhou New Energy and National Biological High-tech Industrial Base	Dezhou, Shandong
7月8日(火)		(学生) オフキャンパス・アクティビティ Visit Sino-Singapore Tianjin Eco-city	Binhai New Area in Tianjin
7月9日(水)	日中	(学生) オフキャンパス・アクティビティ Beijing Chaoyang Circular Economy Industrial Park, China Energy Conservation and Environmental Protection Group	北京市内
	夜	(教職員) 移動 ウェルカムパーティ	清華大学
7月10日(木)	午前	シンポジウム "The Role of New Materials Technology in New Energy R&D"	清華大学
	午後	副学長・シニアスタッフ会議 学生ワークショップ (パラレルセッション)	
7月11日(金)	午前	副学長への学生プレゼンテーション および表彰式	清華大学
	午後	1) TusPark 訪問 (オプション) 2) 東工大・清華大学合同プログラム 10周年記	1) TusPark 2) 清華大学

		念イベント	
7月12日(土)	昼 午後	北京蔵前会との昼食会 移動	

■ **実施概要：**

○オフキャンパス・アクティビティ (7月7日(月)～7月9日(水))

各大学の参加学生が3日間にわたり、中国国内の環境エネルギーに関する様々な施設を見学した。

○学生ワークショップ (7月10日(木) 午後)

参加学生が4グループに分かれてシンポジウムのテーマである“The Role of New Materials Technology in New Energy R&D”に基づいて話し合い、翌11日に行われる副学長へのプレゼンテーションへ向けて資料を作成した。

○副学長への学生プレゼンテーション (7月11日(金) 午前)

参加学生の4グループが前日作成した資料を使ってASPIREリーグ加盟校の副学長、教員等に対し、発表及び質疑応答を行った。また、各発表に対して審査が行われ、審査結果に基づいて、優秀プレゼンターと優秀グループが表彰された。

- ① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略  
ASPIRE Student workshop2014 / 中国清華大学
- ② 留学前の準備
  - ・留学情報の入手方法: 国際交流課からのフライヤー
  - ・専門分野・語学の準備方法: 特になし
  - ・留学先の研究室に所属した場合は、留学先大学の指導教員との準備、ビザ取得方法、住居の探し方など: 特になし
- ③ 留学中の活動及び感想
  - ・OFF キャンパスの活動: 新材料を用いた新エネルギー開発に関わる施設・工場・企業を多数訪問。次から次へと移動があり、体力的に消耗した。中国の広大な土地の利点を目に見て感じる一方、日本の洗練された都市を省みることができる。
  - ・キャンパス内の活動: 最終日のプレゼンテーションと最終日前日のレクチャーとディスカッションが主。トピックに明るいほうがグループワークでの貢献度は高くなり良いが、決してトピックに精通した学生は多いわけではなく、トピックと専攻・研究内容に差があっても問題ない。OFF キャンパスでの活動を通じての経験や一般的な工学知識で十分である。
- ④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード
  - ・1 週間という非常に限られた期間であり、成長を実感するほどのワークもない。ただ、背景の異なる学生とのワークショップを通じて自身の弱み強み、コミュニケーションの難しさ等を認識し、今後の学習の糧となると思われる。
- ⑤ 留学費用
  - 渡航費: 大学負担
  - プログラム参加費: なし
  - 生活費: ほぼなし
  - 住居費: なし
  - 保険料: 1 週間分
- ⑥ 留学先での住居  
清華大学内のホテル(東工大の他の参加者と同部屋)
- ⑦ 留学先での語学状況  
学生とのコミュニケーションは英語。シンガポール、香港の学生は特に英語力が高いと感じた。  
街中ではほぼ英語は通じないので中国人の同行がないと外出は困難
- ⑧ 単位認定  
単位なし: 1 週間のワークショップのみ
- ⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか  
他大学とのよいコネクションを築けたと思う。また、自身の英語力や他のスキルの欠落にも気付けたので今後の学習の良いモチベーションになると思う。
- ⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)  
特になし
- ⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス  
他大学との学生との交流、中国文化の理解にはよいプログラムと思われる。交通費および食費等、全く費用はかからないことが大きなメリットである。

The ASPIRE is the short for Asian Science and Technology Pioneering Institutes of Research and Education. This consortium, established in 2009, is comprised of the Hong Kong University of Science and Technology, Korea Advanced Institute of Science and Technology, Nanyang Technological University, Tsinghua University, and Tokyo Institute of Technology, aiming to form a hub for innovation in Asia through the advancement of science and technology and the development of human resources, thereby contributing to the realization of a sustainable world.

I have found the information on the pages of Tokyo Tech, then checked the requirements. After preparing and submitting the application documents, I took the interview in English. I have taken a TOEFL in China in 2013, so I have the English ability test. As I am a Chinese, I do not need to apply visa.

There was a very tight schedule for us, intensive company visits, different reports and presentation by interdisciplinary teamwork. We had a full and hard days in Tsinghua University, but all the participants were very happy to make new friends and shared the different ideas, culture and language. It is a really exciting program.

I have made new friends with the participants of other universities and shared our ideas about research, career and life. So deep and broad topics have been discussed. I have learned so much from other members in culture, self-development, and international cooperation.

The flight ticket was provided by Tokyo Tech and the accommodation and food were provided by Tsinghua University. I bought the insurance according to the instructions of Tokyo Tech.

About the accommodation, THU arranged the on-campus hotel for us in advance, which is very convenient. Two students shared a room.

During the forum and workshop, we used English, so keep learning English every day to be well-prepared.

We have not taken classes, so there was no credits.

I will try to attend such an international communication activities in the future, which is a really nice experience and learning process.

Keep learning other language and be open to new thoughts, new culture.

## 留学終了報告書

総合理工学研究科 知能システム科学専攻 修士1年 S.S.

① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略

ASPIRE League Forum 2014 / 精華大学

② 留学前の準備

特になし。(当該プログラム参加のために英語面接などがあったものの、宿舎の手配などはすべて ASPIRE League の運営方が行ってくれた)

③ 留学中の活動及び感想

エネルギー政策についてのプレゼンテーションを各大学からきた学生とともに作成し、各参加者の国々の政策のみならず文化的な内容についても共有した。

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

毎日朝夕に食卓を囲む機会があったのだが、食事をする度に参加者と仲良くなることができ、お互いの文化について理解を深めることができました。

⑤ 留学費用

すべて ASPIRE 側が負担してくださいました。

⑥ 留学先での住居

すべて ASPIRE 側が用意してくださいました。

⑦ 留学先での語学状況

ディスカッションはすべて英語、また中国語がしゃべれる学生は中国語にて現地の学生および現地の人々とコミュニケーションをとるなどしていた。

⑧ 単位認定

なし

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

本プログラムに手であった友人と今後も密に連絡を取り、関係性を大切にしていきたい。

⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)

特になし。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

非常に手厚いプログラムなので、ぜひとも参加することをお勧めします。

① 留学先(参加プログラム／受入れ機関)の概略

清華大学

② 留学前の準備

特になし

③ 留学中の活動及び感想

大学が広かったのでサイクリングなどしたり、他の留学生の部屋でゲームをやったりした。

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

中国語を話せる人が多かったので時々何を喋っているのか分からないときがあったが、そのような中で同じ境遇の韓国人の人たちとは非常に仲良くなれた。

⑤ 留学費用

基本的に保険料以外は大学が持ってくれた。

⑥ 留学先での住居

大学のホテル

⑦ 留学先での語学状況

TOEICの点数は670点だった。コミュニケーションは取れたが、スラングなどは分からなかった。また他の言語の訛が強い英語は聞き取れなかった。

⑧ 単位認定

行わない

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

今後も何か機会があれば同じプログラムにいた人たちと積極的にやり取りしたい

⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)

特になし

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

期間が短かったので特になし。中国に限ればインターネットで使えないサイトが多いので事前に調べておくといいかも。